

人
天

三二七
受信一三四〇
譯始一三四〇
譯了二四四〇
電一二五六一
航本〇

緊急

1/2

第五航空艦隊P・三五二空

大海参一部・航空本部・佐 鎮・第十航空艦隊P・二二二空

機密第二七一―一三二番電

623

聯合艦隊參謀長

三五二空機密第二六一五五二番電關聯

三五二空兵力ハ雷電隊トシテ主トシテ敵大型機ニ對スル基地防空ニ

任ゼシムル如ク兵力運用上考慮セラレ度。

通一四三二四 ロ一Bケ五(B)G P P 田中(鈴三)

昭和廿年參月廿八日

↑人



三二七 受信一八四八
開始一八一五

譯了一九五〇 電一二六九四 作 概

東通

三五二〇各航空艦隊P・各艦・阪警・吳防戦P・吳海戦P・吳練習戦隊P
第二時攻戦隊P

機密第二七一三二一番電

宛 大臣・總長・聯合艦隊司令長官・G H B長官

吳鎮戰團概報第三號

一〇〇〇頃敵大型機數足摺 琦ヲ經テ豐後水道ヨリ侵入佐伯松

山足摺附近ニ投彈〇一三〇頃南方ニ脱去ス

三戰果ナシ

三被害 佐伯航空隊東海一機大破

通一四四七八 呂一B、五(B) 吳、竹内(飯田)

昭和廿年參月廿八日

624

父島

父島



三二二七 受信一八三〇一 譯了一九〇〇 電一二六六七五 作 機

父島根戰國概報着信艦所

機密第二七一三五七番電 二分ノ一、二

父島方面特別根據地隊戰國概報(三月二十六日)

一、P五一 ○五四二ヨリ一四機一二五四ヨリ一機來襲各約一時間ニ
瓦リ主トシテ飛行場及電探附近(中央山乳頭山)ヲ攻撃ス一三四〇
頃潜水艦一隻一五〇〇頃磁遜艦一隻共二一八〇度四〇軒附近ニ出現
上空ヲ大型機小型機數機ガ旋回一六四〇頃去ル一九四一ヨリ二三一
二ニ至ル間三次ニ瓦リ各大型軍機來襲附近海面ニ投彈

ニ戰果ナシ

三、被害 陸軍機帆船一隻沈没一機火災二式一號一型改二電波探信儀二
基破壞(修理不能)一五K・V・A・發電機一基破壞(使用不能)

通一四四四六・一四三九七 呂一B・五(一〇二〇〇〇)父島

長井・馬場(敏田)

昭和二十一年三月廿八日

昭和廿年參月廿八日

三二七 受信一六四〇〇 譯了一六三〇 電一二六五二 災作

保安緊急

濟州・怒和島

佐領



「カク」船團行動着信艦所・機雷部隊・五航空艦隊」

626

機密第二七一四三七番電

佐領信電令第五七號

○七五〇指宿哨戒機指宿ノ二二六度一四二哩ニ於テ遭難者一大ヤマ
乗員ト推定ノ約 名漂流中ナルヲ發見濟州怒和島ハ同現場急行救助

ノ上艦投セヨ。

通一四四三一 天二日ケ六一五七〇〇 KC (佐通 村尾 (横田))

0741





三二七

受信二〇〇三

譯了二二二五 電一二七六二

航作 概〇

昭和廿年三月廿八日

第一二聯空



大村・元山・姫路・宇佐・福山・天草諸託問各空
一機動基地航空部隊・五一空廠・一一空廠・第一二空廠・二二空廠

機密第二七一五〇五番電

62

發

謀

項

實用機特攻隊ハ四月五日ヨリ作戦ニ参加セシメラルル方針ニ付キ各

隊ハ左ニ依リ爆裝工事ヲ促進セシメラレ度

一、戰闘機特攻爆裝ヲ緊急實施

二、四月中旬艦機現有爆彈投下器ニ對シ機上安全解除裝置ノ取附工事

ヲ緊急實施次第特攻爆裝ヲ實施。

通一四五七一 口一Bケ五(六七EC) 佐通 櫻井(本 田)

平

1/4

三二七 受信一八三七 譯了二二三〇 電一二七三六 航作概〇
譯始二〇〇〇

第七基地航空部隊戰機着信艦所

松山空基地

吳

海軍

機密第二七一六三一番電

628

三四三空戰團概報第五號(三月二十七日)

一〇〇〇ヨリ一二五迄紫電及紫電改計五三機ヲ以テ四國南方ヨリ
侵入ノB一八九ヲ邀撃敵ヲ見ズ戰果被害ナシ

紫電四機同改一機發動機不調ノ爲不時着大破墜死一名重傷一名

第一四五二六 口一Bケ五(B) 木更津 會田(鈴三)

昭和廿年三月廿八日

昭和十年三月廿八日

↑
K

三二七 受信 一九三六 譯了 二〇四〇 電 二二七〇九
開始 二〇一五
統作 概 〇
本

作戰緊急



第一航空隊司令部殘留隊 (香取基地)

機密 第二七一七〇六番電

629

五、四、四日 冠令作第四二號

一、零戰隊指揮官ハ明二十八日零戰特攻隊一隊及指揮下彗星一機ヲ石

垣島基地ニ進出セシムベシ

三、二〇五空司令ハ明二十八日午前在臺中陸爆特攻隊ヲ臺南ニ復歸セ

シムベシ

三、七六五空司令ハ在臺南零戰特攻隊中ノ八機ヲ以テ陸爆特攻隊直掩

隊ヲ編成爾餘ヲ臺中ニ復歸セシムベシ。

一四五五四 一Bケ五 (一一三四七五四) 五〇〇B放

日野川 (小川)

0744

↑
人

三二七

受信二〇二八
譯始二一三〇

譯了二二三〇

電一二七六八

航作
本〇

昭和廿年參月廿八日

至急

共

符

停

聯合艦隊P・五航空艦隊P
三航空艦隊P

機密第二七一七〇八番電

630

U N B 戰團樞報特八號(二十七日)

彩雲一機(三木大尉機)偵察ノ爲〇六五〇出發セシモ發動機不調
ニテ引返ス〇七四五着他ノ一機(廣瀬中尉機)PB偵察ノ爲〇六三
〇發歸途天候不良ノ爲一五四〇頃ロイツプ島ニ不時着セルモノ
如シ人員收容手配中

通一四五七七 呂一B廿三(五一二五K)四通

加藤(塩田)

↑
人

作

緊急

三二八

受信開始 〇〇二二〇〇

〇三二〇

電一二八八八

作

機

昭和廿年三月廿八日

ヤツプ航空基地

五基地航空部隊戦闘概報着信箇所

三一通五分道隊

機密第二七一七一〇番電

631

二十七日戦闘概報

一五三〇一六一五 T B F 一、二機 P 四 一、三機 大艇

一機一二〇度方向ヨリ進入第一飛行場及周邊銃爆撃後全機九〇度ニ

去ル 〇八一五一〇八四五單發動機二機ラシキ爆音上空旋回四〇度

方向ニ爆音消滅其ノ他目視ニダグラスニ西行

戦果、被害ナシ終日雲量九一〇時々雨。

通一四七二三 呂ニ B ラ十四 (一五七一〇 KC) 三連 午澤 (吉井)

人
天

停



● 横濱航空基地
● 八通信隊
● 聯合艦隊 口

機密第二七一九番電

632

宛 第四艦隊參謀
宛 南東方面艦隊參謀 第一〇一航空戰隊參謀 第五八航空隊
當方面雨期ニ入リタルモ、人如ク最近突候不定ニテ驟雨頻度アリ
付、近接ニハ充分注意ノ上通信ノ確保ニ努メラレ度。

通一四五七六
呂二〇ヲ十八（五一二五）四通 雨宮（小）

昭和廿年參月廿八日

作概

三 二八 受信 一〇二〇〇 譯了 一三四三 電 一三一〇〇 作 概

至 急

ケンダリー航空基地



東部空襲部隊戦闘概報着信監所

機密第二七一七三〇番電

三分ノ二

633

臺北航空隊戦闘概報 二十六日

一〇九四五 P I 三八 一機「アンベシヤ」基地上空通過「ケンダリー」

基地上空ニ侵入飛行場ト同陣營上空ヲ數回旋回偵察高度約七千一〇一

二東南方ニ去ル天候晴積亂雲アリ

三一九四八敵大型機一機北東方ヨリ來襲爾後二二四三迄一機宛（ケンダ

リ）及（アンベシヤ）兩基地上空ヲ執拗ニ旋回「ケンダリー」第一飛行

場上空ニ三回侵入小型爆彈計六發投彈「アンベシヤ」飛行場上空ニ四

回侵入計五發投彈（爆彈ノ約半數ハ樹木地上五〇米ニテ分割）

三戰果 被害ナシ。

通 一四八七七 一四八八六 呂 一〇ケ五（一八三六七五KG）（一二）通

久保田（新井）

昭和廿一年三月廿九日

B. 27

天

傍

三 二八 受信 〇〇六五〇〇 譯了 〇八三五 電 一二二九三五 作 概

三 五二 航空 隊

二二聯合航空隊 P. 五, 一〇各航空艦隊 P

聯合艦隊 P. 佐 鎮

機密第二七一七五〇番電 二分ノ二三

三五二空大村空戰概報(三月二十七日)

一〇八一〇敵艦上機當方面ニ向ヒツツアリノ情報ニ依リ可動全力五〇

機發進セシモ敵ヲ見ズ

三一〇二五敵大型機編隊九州東岸ヨリ浸入ノ報ニ依リ零戰、雷電計四

〇機發進大村上空高度九〇〇米ニテ遠擊

(1) 一一〇五ヨリ一一一八迄四梯團ニ分レ B I 二九計四〇機飛行場南

通 一四八〇〇九 呂一Bケ五(五二〇〇)佐通

相澤(田)

(一)

昭和廿年參月廿八日

634

0560

側ニ約七〇發投彈

(口) 戰果火ヲ吐カシタルモノ一機、被害地上炎上雷電五機零練戰

一機戰死四

其ノ他大村航空隊建築物ニ甚少ナル被害アリ飛行場使用可能。

(二)

三二七
 至急
 受信二二一五四
 譯始二二五九
 譯了二三五七
 電自一一二八〇九
 電至一一二八一〇九
 作概

作

聯合艦隊

機密第二七一八〇〇番電

三分ノ二、三

發 南島島警備隊司令

宛 第一六潜水隊司令

道報 横須賀鎮守府參謀長

責機密第二六二〇三二番電返

(1) 敵機ハ本年ニ入り大型單機マハ數機 (B-124ヲ主トシPB4

Y Y D . P S N B . P B Y 夫々一、二回アリ) 偵察又ハ爆撃ニ來

リシモ一〇三〇以前及一四〇〇以後晝間來襲セシトナシ

〇九八五

一Bケ五 (B)

備本
 山 (佐藤)

昭和十六年參謀部

(ロ) 本月ニ入り晝間來襲ノ外ニ七日以來二十一日迄ノ内九回一九四六

ヨリ二二五六ノ間ニ於テ各一機本島附近ヲ低空ニテ旋回偵察セリ

其ノ他敵水上艦船ハ本年ニ入り近接セシコトナキモ敵潛ハ無線方

位測定ニ依レバ時々附近ニ出現スルモノノ如シ

二、揚搭利用舟艇大發八隻、小發一隻木船二隻

三、揚搭地點ハ南岸中央揚搭時機ハ〇一〇〇以後早朝ヲ可トス

四、其ノ他參考事項

(イ) 本島ニ近接スルハ一〇三〇以前又ハ一四〇〇以後ヲ可トス南岸見

張所ト先ツ通信ノ時刻ヲ決定(直ニ開始スルカ又ハ敵情ニ依リ後

刻トス)ヤレ度

當隊現有暗號書呂 天 於(應急規程ナシ)ナリ。



三二七 受信 二二二二一
譯始 二二二二一
譯了 二二二二四
電 二二八五〇
航作 本概 〇

昭和廿年三月廿八日

作戰緊急

大村航空基地

佐世保航空隊



佐領・五航空艦隊口・聯合艦隊口・海上護衛總口・支那方面艦隊
沖繩根下・上海根下・四海上護衛隊ト九〇一空ト・九三二空

機密第二七一八一五番電

636

九五一空電合作第九八號

第九五一空大村派遣隊及第九〇一空大村派遣隊ハ左ノ區分ニ依リ大
村ノ二一〇度ヨリ二三〇度間四〇〇哩ノ夜間日施哨戒ヲ實施スベシ
一奇數日九〇一空(大艇一機)偶數日九五一空(陸攻二機)ヲ擔任
トシ第一日ヲ三月二十七日トス

二尖端到達標準時刻ヲ日出二時前トシ毎日變化ヲ與フ。

補一四六四四
一四六六五

才一四六七五(佐通) 櫻井・中川(本田)

三二七 受信二二三四 譯了二三四六 電一二七八七 作 概〇

譯始二二五一

緊急

佐 鎮



「カタ」船團行動豫定着信艦所・第五航空艦隊口

聯合艦隊口・遊撃部隊口

機密第二七一九〇一番電

637

通報 第六航空軍 海軍省軍令部 海上護衛總司令部

第六航空軍夜間攻撃隊ノ行動用トシテ同軍ニ對シロノ島ニ夜間目標燈

ヲ設置及同上設置ノ爲陸軍徵用漁船一隻鹿兒島(二十八日朝發)豫定

同島間ニ往復ヲ許可セリ。

通一四六〇八 天二B(五二〇〇K) 佐通 竹中(森 田)

昭和廿年參月廿八日

天
↑

三二八
作戰緊急

受信始 〇〇一一四五〇

譯了 〇三二二〇

電一 二二八四七

作概

昭和廿年三月廿八日



三〇根拠地隊概報着信艦所・一聯合基地航空部隊△
先遣部隊△・五護衛艦隊□

四六警備隊・ヤツブ航空基地

機務第二七一九〇二番電

二分ノ二三

三〇根拠地隊戰國概報 三月二十七日

敵艦艇コスソル水道入港

(イ) 一〇一〇 船一隻 八千噸滿載

(ロ) 一〇一一 五噸送船一隻 八千噸滿載

(ハ) 一〇一三 〇五噸送船二隻 八千噸滿載 二噸送船二隻 八千噸普通甲板

七二戰機ラシキモノ六乃至七機搭載 二小艦艇二隻

(ニ) 一三五五 噸送船一隻 七千噸滿載

通一 四七一〇

呂一 八十四

一五七一〇

通

田中 (増田)

(1)

三 昨二十六日一三二〇コスソル水道ニ入港ナル輸送船一隻ノ甲板上ニ

戦闘機六乃至七機搭載シアリ

機

三 敵機PPP發着一一〇輸送三 九〇度ヨリ着

四 〇六四五ヨリ一七五迄P四〇艇四二B二計四四PPニ來襲

銃爆撃

五 視界内 敵艦艇旋泊狀況

(イ) コスソル水道大型輸送船九小型輸送船二中型油槽船二驅逐艦一小

艦艇一七

(ロ) PPP 周邊大輸送船一中輸送船一巡洋艦一掃海艇三驅潛艇六。

(1)

(2)

三
二二七
二八七
受信二二三〇
譯始〇四一一
譯了〇五四一
電一二八八九
作概

至急

二二根

二二根戦闘概報着信艦所

機密第二七一九一五番電

639



二KB 戦闘概報三月二十七日

一六〇〇ヨリ一七〇〇ノ間B二四 二機ヌンボチ沖ヨリ南下バリツク

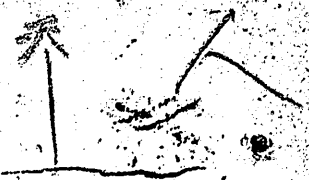
ババン南三〇進ニテ檣丸船團ニ投弾被害ナシ 零戦三機水戦一機ヲ以

テ邀撃戦果ナシ。

通一四六七三 協作六二二二、五KC(二十一通

高田(山中)

昭和廿年参月廿八日



19

三二八 受信〇〇八二〇 譯了一一四〇 電一三〇三四 作 概
至 急 通



南東方面部隊戰國概報着信鑑所

機密第二七一九五〇番電

RX方面防備部隊戰國概報第四五〇號(二十四日至二十六日)
二十四日RXPO八一〇B1二五、一機偵察〇八五〇P五U十機陸
軍地帶銃爆擊二十五日來襲機ナシ二十六日〇八一五P五U二機偵察
〇九四〇P五U八機一一〇〇四、一二〇〇一三機一三四五八
機陸軍並ニ海軍農園地帶爆擊戰果ナシ被害幕舎七倒壞。

640

通一四七六一 呂一Bラ一八(五一二五EC)八通 相澤(小澤)

昭和十一年三月廿八日

三二八 受信一〇三〇 譯了一二二五 電一三〇四九 作 概
譯始一一四五

ハンジヤルマシン航空基地

東 空襲部隊戦闘概報着信箇所

第二南遣艦隊P・第二二根P

機密第二七二〇四一番電

641

作

東印空 戦闘概報第一九六號

三月二十七日一八三〇ヨリ一八五三迄敵B一二四 二機第一第二飛行

場附近ニ來襲セルモ投弾セズ

第三八一海軍航空隊零戦三機邀撃戦果ナシ。

通一四八八三 呂一?ラー一八八一八三六七五KG(一一一通 渡邊(福田))

昭和十七年三月廿九日

昭和廿年四月五日

三二八 受信二〇〇五五 譯了二三一五 電〇〇〇〇六 作 概

在 泰 武 官

南西方面艦隊P・一南遣艦隊P・一〇根P・一一根P

軍令部第一部・軍令部第三部・軍務局・一三根P

機密第二七二一〇八番電

642

本日一五一五ヨリ一七三七迄盤谷空襲警報發令戰闘機七機及B一二九及B一二四延數機ヲ以テ第二次空襲ヲ行ヒ我方死傷若干アリタル外埠頭倉庫三棟全燒捨載艇一二隻炎上其ノ他泰側ニ若干ノ被害アリ戦果ナシ。

（東通註 本電誤字極メテ多ク再送ノ爲遲延）

通一四九〇〇 壽一Dケ二（一七五九〇KG）十通 石垣（細川）

1940

天
人

三二七

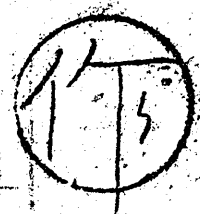
受信開始 〇〇一〇〇二

終了 〇三三七 / 電一二八四三

航作

本概 〇

昭和廿年 三月廿八日



第一機動基地航空部隊作戦命令着信儘所

鹿屋航空基地

機密第二七二二二三四番電

643

一 K F G B 参謀長

本日ノ敵空襲ノ狀況ニ鑑ミ「マリアナ」方面ヨリ二九ノ攻撃ハ九州方面基地ニ指向スル算極メテ大ナリ基地防護（飛行機ノ分散偽裝隱匿燃彈ノ分散等）ニ遺憾ナキヲ期セラレ度。

通一四六九五 呂一〇分三（三五三六三〇）一三〇g 放 佐藤（藤田）

人

三二八

受信一三〇三
譯始一四〇〇

譯了二六〇〇

電一三一四四

作 概

緊急

作

二三根職團概報着信處所

機密第二八〇一風〇番電

二分ノ六

職團概報第三四八號三月二十六日

三〇九三一 函發一機南東ヨリ侵入飛行場周邊偵察一〇一二西ニ去リ

一九四三一 二二四三B 二四 一機五回ニ亙リ灣口及飛行場周邊ニ侵入

投照一 (管隊本部火藥庫被害ナシ) 損害輕微 (飛行場周圍山中一南西

消滅

三二七日一九一二一二二二四約四回ニ亙リケンダリー・ボマラ及ビム

ナ島方面偵察後南東ニ消滅投照セズ。

通一四九六三
一四九六一

天二日ケ六 (一八三六七、五〇二二二) 中野・會田 (宗一)

昭和十年三月廿九日

尾 三九

受信三〇一五九

開丁〇九〇〇 電一四一〇一 真洞◎

五念

傍

● 高砂丸海軍病院

● 聯合艦隊中一〇方面艦隊
一 根サシヤツク派遣隊

暗號 七領秘

機密第二八〇二一七番電

要能恙患者一七〇名（内要機六〇名）ナルニ付西貢ニ寄港收容サレ
反サンシヤツク西貢間水路現在迄ノ所磁機雷ノ恐ナクサンシヤツ
クニ於ケル水先人ノ乗船可能ナリ

通一五八六四

送日夕六（六二三五四）十通

海

645

昭和廿年癸月卅五日
第十課

發 露 敵 海 防 艦 長

○七〇五 五三三五度五三分五一二三度二五分ニ於テ驅潛艇五〇敵潛ヲシキ
 反響音ヲ探知捕捉再三檢討後○八二五設標續イテ本艦探知○八三〇設標
 敵潛確實ト認 ○九〇〇ヨリ聯合投射ヲ行フ（使用爆雷一五個驅潛艇八
 個本艦七個）効果檢討中○九二五投射地點ニ幅約二〇〇米長サ約四〇〇
 米ノ油帶ヲ發見○九四七油紋ニ對シ本艦爆雷十八箇ヲ投射ス油帶長サ約
 一〇〇米延長セリ尙效果ヲ檢討中（油ヲ採取セリ）
 通一五〇三一、一五一〇二 天二〇ケ六（九八三〇KG）佐三放 坂本、高塚（七、谷）

休

三	二	八	作	戰	急
受	信	一	七	〇	五
七	〇	五	〇	五	〇
了	一	八	〇	〇	〇
電	一	三	三	三	一
電	一	三	三	一	四
三	三	三	一	四	三
作	概				

大海參一部・海上護備總口・第一護備艦隊口・鎮警
 大青島海面防備部隊・第三海洋丸・二六號驅潛艇

機密二八一〇二番電 二分ノ一、二

646

昭和四年八月廿九日

ト

三二九 受信一〇八一四〇〇 譯于一三〇〇 電一三六一六 作 概

至急



● 東部空襲部隊戦闘概報着信艦所

● ケンタリー航空基地

647

昭和廿年 參月 卅日

機密第二八一〇九番電

濠北空襲概報 二十七日

一九一五ヨリ二三四〇ノ間敵大型機一機宛「ケンタリー」「アンペシヤ」基地附近一帯上空ヲ旋回「ケンタリー」三回「アンペシヤ」一回飛行場上空ニ侵入ナルモ投彈ハズ天候曇飛行場ノ視認困難ナリシモノト認ム。

通一五四八二 呂一月廿五(一八三六七五)KG(二一)通

伊藤(増田)

人

三 二八 受信 二二〇二五 開始 二一〇四五 了 二二二二五 電自 一三三四一六四

昭和廿年參月廿九日 作 概

至 急



總大 長巨

佐 飯

海上護衛總口・聯合艦隊口・一〇、五各航空艦隊口・各鎮、各警
三五二、大村、九五一各空・佐世保警備隊

機密第二八一一一三七番電 三分、一、二、三

佐領戰團概報 (三月二十七日)

一 一〇二一 大分縣丹賀ニ於テB1二九 二十機發見爾後一〇四二迄ニ約
一五〇機大部分十機 程度ノ編隊一部二十機及三〇機編隊ニテ主トシ
テ佐伯附近一部新田原及宮崎附近ヨリ九州ニ侵入大分、福岡(陸軍)
太刀洗及大村各航空基地ニ來襲

648

三 大村地區戰團狀況

(A) 一 一〇五 十機 一 一〇九 九機 一 一一〇 九機 一 一一八 一
通 一 一五五 二 一七三 三 一四八 八 呂 一 Bヶ五 (九八三〇) 佐 二 坂 山半 崎澤 (川口) 1

二機 計四〇機 東方ヨリ約高度五〇〇〇米ニテ大村ニ侵入大村
 飛行場南側及二十一航空廠中部投彈三五二空及大村空（何レモ五
 A作戦指揮下部隊）零戦三二機（大村空一二機）雷馬八機、月
 光二機九五一空水戦六機一〇二五發激撃セルモ當時天候半晴「ミス
 ト」ヲモテ視界不良ノ爲零戦五機雷電四機月光一機ノモ敵ヲ捕提
 攻撃高射砲部隊發射彈數五三四發
 (ロ)戦果火ヲ吐カシメタルモノ一機
 (ハ)被害三五二空月光一機 被彈零戦一機雷電五機 地上大破又ハ炎
 上人員戦死一名、大村航空隊被彈零戦二機 戦死三名 重傷一〇名
 士官會中破 飛行場被彈約七十發 使用蓋支ナシ 二一空廠小火災
 六ヶ所廳舎附近建物大破數棟 戦死一名 重傷四名。

作

三二八 受信一四四〇六 譯了一八〇〇 電一三一九〇 作 概

父島根戰國概報着信艦所

總無線艦所用共通符號

649

機密第二八一二一七番電

發 父島根據地隊司令官

戰國概報(三月二十七日)

一、三二二ヨリ二〇分間P I 五一 一六P B Y I 五A 一ノ誘導ニヨリ
來襲シ飛行場附近ニ銃爆撃一三五〇頃B I 二九 一機内地空襲ノ歸途
途來襲海面ニ投擲一九二七ヨリ二十八日〇二〇〇ノ間五次ニ亘リ各
大型單機來襲飛行場。三日月山及附近海面ニ投擲

三被害重傷一名。

一四九九三 一四九三五(一〇二〇〇〇)父島 竹中(上谷)

昭和廿一年三月廿九日

(考)

人

三 二八 受信一九二〇五 譯了〇八一五 電〇六六九八 參作 本 概〇

作戰緊急

海護總口。佐藤。四 共 符

(作)

機密第二八一二四〇番電

650

通報 船舶司令。運輸通信長官。各支部

一五參電第一〇五九號其ノ一其ノ二

西部軍ノ捕獲セルヨ二九搭乗員調査報告

昨二十七日一二〇〇頃ヨリ二十八日〇一〇〇頃ニ至ル間ヨ二九約六十

機來襲セリ各機磁氣機雷十二個ヲ携行セリ尙主力ハ豐豫海峽ヨリ關門

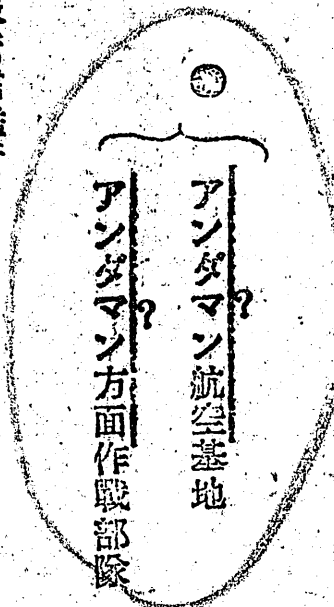
地區ニ一部ハ長崎南方地區及島原半島天草島附近ニ來襲セリ。

東通註 本電問合セノ爲遲延

通一五一五二 天日ケ八(四九一五K)佐二放 田中(高)

昭和廿年四月拾參日

三二八
受信
始信
一七五五
一九三〇
譯了
二二二三
電二三二八四
作
概



東方空襲部隊戦闘概報着信監所



二三根ア・第二南遣艦隊口

機密第二八一三一六番電

東印度空襲戦闘概報（三月二十八日）

B1二四 二機セラタン角ヨリ侵入ス一〇三五ヨリ一〇五〇迄第一飛

行場ニ來襲セルモ投彈セズ三八一空零戦二機遊撃（三號爆彈使用）

戦果ナシ 被害零戦二機被撃。

通一五一一五一 呂一〇五三（一八三六五五〇）廿一通 坂本（小野田）

昭和廿年参月廿九日

至急

三二八

受信一六一五
譯始一九二〇

譯了二一一五

電
三三五
五五四
八七六

昭和十年三月廿日

作
本



東京通信隊
聯合艦隊口、横領、南島島警備隊、四艦隊口

共

符

機密第二八一三二四番電 四分ノ二

發 六五警司令

宛 第一六潜水隊司令

貴機密第二六一三〇番電返

一、(イ) P B M 又ハ P B 四ノ一ニ機程小一六〇度二四〇度ヨリ近接〇八

〇ヨリ一四〇〇迄(主トシテ)二三〇ヨリ一八三〇迄ノ間一

三時間高度二〇〇米以下距岸六〇〇一ニ〇〇〇米偵察シ

外周哨戒後同方向ニ去ル其ノ間ニ北又ハ北西方向ニ三十分一

時 間 程 度 遠 距 離 哨 戒 行 フ ヲ ト ア リ

通

五五〇
〇〇七
二七〇

先二日分(一〇二一〇)五六警備隊

東野・松田(見)

652

(ロ) 波木四日毎ニ「1」P「2」ニ「4」六機右哨戒後誘導ノ下ニ南方日

リ侵入高々度ニテ爆撃後同方向ニ避退ス

以下四分ノ四
見當

(イ) 南及西ノ風強キトキハ作業不能ノコトアリ

(ウ) 水道流速大ニ付曳航スベキモノハ出來得レハ噸數最大一噸以内ト

サレ度

(ニ) 雜必需品盡間揚格所要時間約二時間

一電信課註 本電四分ノ三未着